

平成29年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2017



平成29年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2017

## 目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	08
3 コレクション展	09
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	15
3 地域交流事業	16
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	17
■ ミュージアム施策事業	18
■ ボランティア事業	20
■ 広報活動	23
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	26
2 貸出一覧	28
3 修復一覧	30
■ 入館者数	31
■ 活動記録	35
■ 名簿	38



展示事業

サンシャワー:東南アジアの現代美術展  
1980年代から現在まで



会 期 2017年11月3日(祝)~12月25日(月)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送  
 共 催 国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター  
 助 成 ポーラ美術振興財団  
 開 催 日 数 46日間  
 観 覧 者 数 7,391人

近年、目覚ましい経済成長とともに、国際的な注目を集めるようになった東南アジア10カ国の、1980年代から現在までの現代美術を、28作家89点の作品と資料で紹介した展覧会。植民地支配と独立、独裁政権と民主化、経済発展と格差という、発展と困難が背中合わせのなかで、ダイナミックに変化してきた美術を、「うつろう世界」「情熱と革命」などの9つのテーマで掘り下げて紹介した。なお、本展の関連企画「博多でつなぐ東南アジア」では、出品作家のスーザン・ヴィクターが博多の承天寺で作品制作し、館外展示も行った。

ポ ス タ ー B2 村上英峻(デザイン)/西日本新聞印刷株式会社  
 チ ラ シ A4 村上英峻(デザイン)/西日本新聞印刷株式会社  
 リーフレット B5変形(4つ折) 村上英峻(デザイン)/株式会社インテックス福岡(印刷)  
 図 録 A4変型判328頁 (発行:国立新美術館、森美術館、国際交流基金アジアセンター)

- 関 連 事 業
- アーティスト・トーク  
 講師:リー・ウェン(シンガポール)  
 日時:11月3日(祝)11:00~12:00  
 会場:企画ギャラリー(7階)
  - アーティスト・トーク  
 シンガポールのザ・アーティスト・ビレッジと福岡の作家たち  
 講師:コウ・グワンハウ(シンガポール)、牛嶋均(福岡)、古賀義浩(福岡)  
 日時:11月3日(祝)14:00~15:30  
 会場:あじびホール(8階)
  - アーティスト・トーク  
 光に照らされて/Coming to Light (「博多でつなぐ東南アジア」展より)  
 講師:スーザン・ヴィクター(シンガポール)  
 日時:11月3日(祝)16:00~17:30  
 会場:あじびホール(8階)
  - アーティスト・トーク  
 講師:フェリックス・バコロール(フィリピン)  
 日時:11月4日(土)13:00~14:00  
 会場:あじびホール(8階)、企画ギャラリー(7階)
  - 映画上映&トーク  
 鬼才の監督5人が撮った東南アジア美術&解説トーク  
 講師:後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院教授)  
 上映作品:『Art Through Our Eyes (僕らが見た、美術)』  
 (2016年 | シンガポール | 30分 | デジタル上映 | 日本語字幕)  
 日時:11月4日(土)14:00~15:30  
 会場:あじびホール(8階)  
 共催:国際交流基金アジアセンター  
 協力:シンガポール国立美術館
  - シンポジウム  
 アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート  
 講師:レオノール・ヴェイガ(ライデン大学、研究者)\*福岡アジア美術館、レジデンス研究者  
 ジェームズ・ジャック(九州大学ソーシャルアートラボ、美術作家)  
 ヘアロハ・ジョンストン(ホノルル美術館、学芸員)  
 中尾智路(福岡アジア美術館、学芸員)  
 日時:11月26日(日)14:00~17:00  
 会場:あじびホール(8階)

□講演会

後小路教授とめぐる東南アジア現代美術の旅  
講師:後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院  
教授)  
日時:12月9日(土)14:00~15:30  
会場:あじびホール(8階)、企画ギャラリー(7階)

□映画上映

爆音映像ナイト☆タイの新鋭映像作家コラクリッ  
ト  
上映作品:コラクリット・アルナーノンチャイ《お  
かしな名前の人たちが集まった部屋  
の中で歴史で絵を描く3》2015年  
日時:12月8日(金)、15日(金)、22日(金)19:20~  
20:00  
会場:企画ギャラリー(7階)

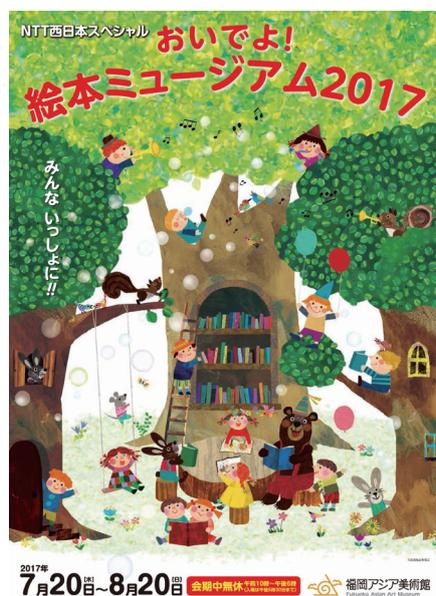
□学芸員によるギャラリートーク

日時:11月11日(土)、11月18日(土)、  
12月16日(土)、12月23日(土)  
各日14:00~14:30  
会場:企画ギャラリー(7階)

関連記事

- 2017. 8. 1 朝日新聞(夕)大西若人「『社会の鏡』表現する難しさ」
- 2017.10.13 西日本新聞(朝)笠井優「東南アジアの現代美術展」
- 2017.10.14 西日本新聞(夕)「サンシャワー 東南アジアの現代美術展」
- 2017.10.30 西日本新聞(夕)「サンシャワー 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」
- 2017.11. 3 西日本新聞(朝)「東南アジアの現代美術80点」
- 2017.11. 3 読売新聞(朝)「サンシャワー:東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」
- 2017.11. 9 西日本新聞(朝)「サンシャワー 東南アジアの現代美術展」
- 2017.11.14 朝日新聞(夕)「サンシャワー:東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」
- 2017.11.22 西日本新聞(夕)「アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート」
- 2017.11.23 西日本新聞(朝)「アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート」
- 2017.11.29 西日本新聞(夕)「後小路教授とめぐる東南アジア現代美術の旅」
- 2017.12. 2 日本経済新聞(夕)「サンシャワー 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」
- 2017.12. 2 読売新聞(朝)白石知子「『聖』『俗』同居 東南アジアを映す」
- 2017.12. 3 読売新聞(朝)大脇知子「闘病の作家 尽きない情熱」
- 2017.12. 4 西日本新聞(夕)「『サンシャワー展』入場券」
- 2017.12. 7 西日本新聞(朝)小川祥平「くれない東南アジア」
- 2017.12.17 毎日新聞(朝)渡辺亮一「サンシャワー 東南アジアの現代美術展」
- 2017.12.19 西日本新聞(夕)「サンシャワー 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」

NTT西日本スペシャル  
「おいでよ！絵本ミュージアム2017 いっしょに」



会 期 2017年7月20日(木)～8月20日(日)(会期中は無休)  
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日  
 本、NPO法人子ども文化コミュニティ  
 特 別 協 賛 NTT西日本  
 協 賛 味の明太子ふくや  
 協 力 たちもとみちこ、トミー・アンゲラー、杉本達應、偕  
 成社、こぐま社、小学館、童心社、ひさかたチャイル  
 ド、福音館書店、文化出版局、NTT コミュニケーショ  
 ン科学基礎研究所、ホテルオークラ福岡、エフコー  
 プ生活協同組合、子どもの本専門店エルマー、ちひ  
 る美術館、コスモマーチャンダイズイングほか  
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公  
 財)福岡市文化芸術振興財団、福岡県私立幼稚園振  
 興協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福  
 岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西  
 日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、  
 cross fm、FM福岡、LOVE FM  
 開 催 日 数 32日間  
 観 覧 者 数 55,608人

10周年を迎えた今回は、これまでに積み重ねてき  
 た絵本を通していっしょに遊んだり、創ったり、暮  
 らしたり、冒険する楽しさ、家族や仲間がいること  
 の大切さ、参加するおもしろさを伝えるべく「いっ  
 しょに」をテーマに、会場構成やイベントを展開。  
 導入部は「いっしょにいこうピクニック」コーナ  
 ーとして、メインビジュアルを手がけたたちもとみち  
 こ氏の絵本を紹介。NTTグループのデジタル技術を用  
 いた体験コーナーも作り、子どもたちがコミュニ  
 ケーションの楽しさを体感できた。また、ロングセ  
 ラー絵本「がまくんとかえるくん」シリーズ、「どう

ぞのいす」、「ぐるんぱのようちえん」、「すてきな三  
 にくみ」、「11ぴきのねこ」の各コーナーでは、そ  
 れぞれの世界が飛び出してきたような空間を創りだ  
 し、あかちゃん絵本「いないいないばあ」では松谷みよ  
 子氏の絵本3作の原画を展示した。

さらにメディアアーティスト杉本達應氏と共同で  
 創った「いっしょにつくろう天の川」は、参加者が押  
 したスタンプが夜空のプロジェクションに輝く仕掛  
 けで人気を集めたほか、初めて試みた点字つきさわ  
 る絵本の特集や、親子がゆったり読み聞かせがで  
 きる絵本広場などのスペースも設置し、家族や仲間と  
 絵本に接する楽しみを共有できる空間づくりを心が  
 けた。

ポ ス タ ー B2 たちもとみちこ(原画)・マツダヒロチカ(デ  
 ザイン)／西日本新聞印刷(印刷)  
 チ ラ シ A3 たちもとみちこ(原画)・マツダヒロチカ(デ  
 ザイン)／西日本新聞印刷(印刷)

- 関 連 事 業  オープニングスペシャルイベント  
 「絵本作家たちもとみちこワークショップ 森のと  
 けいやさん」  
 講師:たちもとみちこ(絵本作家)  
 日時:7月20日(木)10:30～12:30  
 会場:彫刻ラウンジ
- 絵本ワークショップ  
 日時:7月21日(金)より土日を除き毎日  
 会場:彫刻ラウンジ
- ワークショップ  
 「親子でつくろう どうぞのいす」  
 講師:九十九純(SUNMART)  
 日時:7月22日(土)13:00～15:00  
 会場:彫刻ラウンジ
- 絵本ミュージアムスクール  
 「DIYで楽器をつくろう」  
 講師:九十九純(SUNMART)  
 日時:7月22日(土)10:30～12:00  
 会場:彫刻ラウンジ
- いっしょにつくろうシルクスクリーン印刷体験  
 「親子でつくるおそろいのバッグ」  
 講師:日高太一(OIL MOUNT PRINTERS)  
 日時:7月23日(日)10:30～11:30 / 14:00～15:00  
 会場:彫刻ラウンジ
- 「親子でつくる木のポスター」  
 講師:日高太一(OIL MOUNT PRINTERS)  
 日時:7月23日(日)12:30～13:30 / 15:30～16:30  
 会場:彫刻ラウンジ

□かしわらあきおワークショップ  
「シールぺたぺた！おきがるアート」  
講師：かしわらあきお（絵本作家）  
日時：7月25日（火）13:30～15:00  
会場：彫刻ラウンジ

□こどもにぴったりの絵本をさがそう！  
「0～2歳児のためのびたりえワークショップ」  
講師：小林哲生（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）  
日時：7月25日（火）10:30～11:30 / 15:30～16:30  
8月9日（水）10:30～11:30 / 13:30～14:30 /  
15:30～16:30  
8月10日（木）10:30～11:30 / 13:30～14:30  
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ  
「つくる さがす みつける 錯覚の不思議」  
講師：大谷智子（東京藝術大学芸術情報センター）  
日時：7月29日（土）14:00～16:00  
会場：彫刻ラウンジ

□絵本ミュージアムスクール  
「新しい錯覚パターンをつくってみよう」  
講師：大谷智子（東京藝術大学芸術情報センター）  
日時：7月22日（土）10:00～12:00  
会場：彫刻ラウンジ

□講演会  
「『いないいないばあ』とあかちゃんのえほん」  
講師：酒井京子（童心社会長）  
日時：7月30日（日）10:30～12:00  
会場：あじびホール

□絵本ミュージアムスクール  
「森のとけいやさん」  
講師：たちもとみちこ（絵本作家）  
日時：8月5日（土）14:00～16:00  
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ  
「森のとけいやさん」  
講師：たちもとみちこ（絵本作家）  
日時：8月6日（日）13:00～15:00  
会場：彫刻ラウンジ

□もくねんさん  
「おがくすでできた粘土で遊ぼう」  
「ジュース糖度実験」  
提供：エフコープ生活協同組合  
日時：8月11日（金）、8月12日（土）10:00～17:00  
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ  
「○△□で自分の絵本をつくろう」  
講師：杉本達應（佐賀大学芸術地域デザイン学部・メディアアーティスト）  
日時：8月12日（土）13:00～14:30 / 15:00～16:30  
会場：彫刻ラウンジ

□絵本の読み聞かせ  
出演：TNCテレビ西日本アナウンサー（田久保尚英、つのせかえ他）  
日時：毎週金曜日 11:30～ / 13:00～  
会場：彫刻ラウンジM8

#### 関連記事

- 2017. 6. 16 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 7. 3 西日本新聞 (夕)「絵本ミュージアム 招待券」
- 2017. 7. 6 朝日新聞(朝)「NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 7. 6 西日本新聞(朝)「講演会『いないいないばあ』とあかちゃんのえほん」
- 2017. 7. 6 西日本新聞(夕)「講演会『いないいないばあ』とあかちゃんのえほん」
- 2017. 7. 8 西日本新聞(朝)「名作1000作 ご一緒に」
- 2017. 7. 18 日本経済新聞(夕)「おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 7. 20 読売新聞(夕)「NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 7. 21 西日本新聞(朝)「『絵本ミュージアム』開幕」
- 2017. 7. 24 西日本新聞(夕)「NTT西日本スペシャル おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 8. 2 西日本新聞(朝)大田精一郎、久保田敦「願い託して絵本ミュージアム10周年㊤『育ち合う』場所に」
- 2017. 8. 3 西日本新聞(朝)大田精一郎、久保田敦「願い託して絵本ミュージアム10周年㊤『貴重な体験』提供」
- 2017. 8. 3 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム2017」
- 2017. 8. 4 西日本新聞(朝)大田精一郎、久保田敦「願い託して絵本ミュージアム10周年㊤物語の『体温』を声で」
- 2017. 8. 8 西日本新聞(朝)久保田敦「おいでよ！絵本ミュージアム2017 わくわく見つけた」
- 2017. 8. 9 西日本新聞(朝)「物語の世界で遊ぼう」
- 2017. 8. 10 西日本新聞(朝)「入場3万人を突破」
- 2017. 8. 10 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム2017」

#### 関連放送

- 2017. 7. 28 TNCテレビ西日本 マニア・マニエラ
- 2017. 8. 4 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア
- 2017. 8. 9 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア
- 2017. 8. 10 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア
- 2017. 8. 19 TNCテレビ西日本 土曜ニュースファイルCUBE

## 博多でつなぐ東南アジア

会 期 2017年11月1日(水)~12月25日(火)  
会 場 承天寺境内(福岡市博多区博多駅前1-29-9)  
主 催 福岡アジア美術館  
開 催 日 数 55日間  
観 覧 者 数 約40,000人  
出 展 点 数 1点  
参 加 作 家 スーザン・ヴィクター(シンガポール)

特別展「サンシャワー:東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」の開催にあわせ、美術館からとびだして、博多部を会場に、東南アジアのアーティストの眼をとおして、博多の歴史や文化の魅力を再発見した展覧会。博多の古刹・承天寺の境内に、シンガポール出身のスーザン・ヴィクターが、約2000枚のレンズシートを使い、光を取り入れたインスタレーション作品を展示した。

関連イベント スーザン・ヴィクター トーク「光に照らされて」  
日 時:11月3日(金・祝) 16:00~17:30  
会 場:あじびホール



スーザン・ヴィクター《千の空》2017年

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できる展示を行った。同ギャラリー内には、そのほかテーマごとに特設コーナーを設け、3~4ヶ月おきに展示替えを行った。平成29年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

### 日タイ修好130周年記念

#### カオス 静寂な混沌—福岡がみつめたタイ現代美術

2017年5月11日(木)~2017年12月25日(月)

日タイ修好130周年を記念したコレクション展。本展は、1980年の「アジア現代美術展」から福岡アジア美術館での「福岡アジア美術トリエンナーレ」までにおいて、福岡市が紹介してきたタイの美術作品に焦点を当て、絵画や彫刻を9点紹介。

### 夏休み子ども企画

#### 虫めがねで見てみよう！—ちっちゃいもん、こまかいもん

2017年6月29日(木)~2017年8月29日(火)

本展は、リスの尻尾の毛筆で描かれたパキスタンの細密画や、切った爪をつないだアクセサリーのような作品など小さくて繊細な作品を、虫めがねで鑑賞する夏休み子ども企画。絵画や彫刻、インスタレーションなど32点を紹介。

### 関連記事

- 2017. 6.30 読売新聞(朝)「虫めがねで見てみよう！—ちっちゃいもん、こまかいもん」
- 2017. 7. 7 読売新聞(朝)「虫めがねで見てみよう！—ちっちゃいもん、こまかいもん」
- 2017. 8.17 西日本新聞(朝)「虫めがねで見てみよう！—ちっちゃいもん、こまかいもん」

### 福岡市・ヤンゴン市姉妹都市締結記念 ようこそ、ミャンマー美術へ！

2017年8月31日(木)~2018年1月9日(火)

福岡市とヤンゴン市の姉妹都市締結を記念し、19世紀末から現代までのミャンマー美術のあゆみをふりかえったコレクション展。ミャンマー最後の王朝を題材にした洋風絵画から、黄金のパゴダに代表される麗しい仏教国のイメージ、そして社会問題に関心を抱いた現代の作品まで、28点を紹介。

### 関連記事

- 2017.10.27 読売新聞(朝)「ようこそ、ミャンマー美術へ！」

### 冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア

2018年1月11日(木)~2018年4月17日(火)

福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館3館による連携企画シリーズの第4弾。2016年度のテーマは「コレクション×コラボレーション—激動の時代を生き抜いた人々」。本展では、戦前から戦後の時代に日本作家が様々な理由でアジアを訪れてつくりあげた作品を紹介。福岡市美術館の所蔵品47点と当館の所蔵品7点で構成した。

### 関連イベント

#### ◇コラボ・トーク

福岡アジア美術館と福岡市博物館を会場に、福岡市美術館も含めた3館の学芸員がそろってギャラリートークを行った。  
福岡アジア美術館 2018年1月14日(日)13:30~14:30

福岡市博物館 2018年2月12日(月・祝)13:30~14:30

#### ◇ミュージアム・バスツアー

2018年1月27日(土)13:00~18:00

会場: 福岡アジア美術館、福岡市博物館

#### ◇安永幸一氏によるギャラリートーク

元・福岡アジア美術館館長の安永幸一氏を迎え、吉田博を中心とする本展出品作品についてのギャラリートークを行った。

2018年2月25日(日)14:00~15:00

#### ◇レオナルド・バルトロメウスさんと巡るインドネシアの風景画の旅 福岡アジア美術館滞在研究者のレオナルド・バルトロメウスさん(インドネシア)を迎え、本展出品作品についてのギャラリートークを行った。

2018年3月24日(土)13:00~14:00

#### ◇つきなみ講座 描かれた『自然』—聖地・名勝、そして風景—

福岡市美術館の学芸員が自身の仕事、展示、研究、関心ごとについて語る講座。「異境にて—日本作家の見たアジア」展にあわせて、スペシャルギャラリートークを実施。

2018年1月20日(土)15:00~16:30

### 関連記事

- 2018. 2.16 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 2.24 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 3. 2 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 3. 9 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 3.16 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 3.23 読売新聞(朝)「冬のおとなミュージアム 異境にて—日本作家の見たアジア」
- 2018. 3.28 西日本新聞(朝)「異境にて—日本作家の見たアジア」



交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。



ヤルー  
(韓国)

1987年生まれ  
ソウル(韓国)在住  
滞在期間:5月12日～8月9日

#### □主な活動

##### ①作品制作

プロジェクション・マッピングの手法を使った映像インスタレーション作品「ヤルーパーク」を制作した。5種類の果物の形をしたスクリーンに、福岡で印象的だったものを組み合わせた映像を浮かびあがらせた。

##### ②ワークショップ

●6月12日、13日  
「スマホでメディアアートを作ろう！」  
参加者:シンガポールCHIJ中学校 10人  
場 所:交流スタジオ

●6月12日、13日  
「スマホでメディアアートを作ろう！」  
参加者:一般8人(子ども3人含)  
場 所:交流スタジオ

##### ③トーク

●5月20日  
「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」  
参加者:一般46人  
場 所:あじびホール

●7月18日  
「スタジオ見学とトーク」  
参加者:西南学院小学校 5年生 69人  
場 所:あじびホール

●7月22日  
「アーティスト・トーク」  
参加者:福岡教育大学 18人  
場 所:あじびホール

●7月29日  
「アーティスト・トーク」  
参加者:一般50人  
場 所:彫刻ラウンジ

##### ④展覧会

7月28日～31日  
「ヤルー滞在制作作品「ヤルーパーク」公開」  
観覧者:一般685人  
場 所:交流ギャラリー



クルパ・マーヒジャー  
(インド)

1983年生まれ  
アーメダバード(インド)在住  
滞在期間:9月7日~12月5日

#### □主な活動

##### ①作品制作

福岡の歴史や記憶をテーマに、福岡城にかかわる絵図や文書の画像を石や瓦に転写し、本の中に埋め込んだインスタレーション作品と、日本の伝統技術である金継ぎを使用した作品の2点を制作した。

##### ②ワークショップ

●10月27日

「マスキングでインドの文様を作ろう！」  
参加者:福岡市立有田小学校 3年生 99人  
場 所:彫刻ラウンジ

●10月30日

「マスキングでインドの文様を作ろう！」  
参加者:福岡市立賀茂小学校・有田小学校・次郎丸中学校  
特別支援学級 24人  
場 所:交流スタジオ

●11月10日

「マスキングでインドの文様を作ろう！」  
参加者:西南学院小学校 2年生 70人  
場 所:西南学院小学校

##### ③トーク

●9月23日

「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」  
参加者:一般52人  
場 所:彫刻ラウンジ

●11月14日

「アーティスト・トーク」  
参加者:春日市立春日南中学校 1年生 180人  
場 所:春日市立春日南中学校

●12月2日

「アーティスト・トーク」  
参加者:一般50人  
場 所:交流スタジオ

##### ④展覧会

●12月2日~25日

「クルパ・マーヒジャー滞在制作作品公開」  
参加者:一般約430人  
場 所:交流スタジオ

##### ⑤地域交流イベント

●10月21日

「博多リバレイン灯明」  
場 所:博多リバレイン フェスタスクエア



レオノール・ヴェイガ  
(マカオ)

1978年生まれ  
マカオ(中国)在住  
滞在期間:11月1日~11月30日

□主な活動

①調査・研究

グローバル化する東南アジア現代美術における、海外の公的美術機関が果たした役割について調査・研究をおこなった。

②トーク

●11月26日

「アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート：アジア各地の社会に関与するアートの事例報告&ディスカッション」

パネリスト:レオノール・ヴェイガ、ジェームズ・ジャック(九州大学ソーシャルアトラボ、美術作家)、ヘアロハ・ジョンストン(ホノルル美術館学芸員)、中尾智路(福岡アジア美術館学芸員)

参加者:一般56人

場 所:あじびホール

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



イム・イェン・サム  
(マレーシア)

1987年生まれ  
クアラルンプール(マレーシア)在住  
滞在期間:5月8日~6月15日  
シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で来日。

●6月11日  
「アーティスト・トーク」  
参加者:一般35人  
場 所:彫刻ラウンジ

□主な活動

①作品制作  
福岡で出会った地元の人々の顔を、ガーゼの布にあらわした刺繍作品12点を制作した。

③作品公開  
●6月11日~7月11日  
場 所:彫刻ラウンジ

②トーク

●5月20日  
「滞在者によるトーク~これまでの活動と福岡での予定~」  
参加者:一般46人  
場 所:あじびホール



レオナルド・バルトロメウス  
(インドネシア)

1987年生まれ  
西ジャワ州(インドネシア)在住  
滞在期間:2018年2月13日~3月31日

●3月24日  
「レオナルド・バルトロメウスさんと巡るインドネシアの風景画の旅」  
参加者:一般59人  
場 所:アジアギャラリー

□主な活動

①調査・研究  
当館の所蔵作品や資料を用いてインドネシアの風景画について、調査・研究をおこなった。

②トーク

●3月17日  
「Asian Arts Air Fukuoka: Gate 08 Chongqing, Seoul, Jakarta, Tainan」  
参加者:一般28人  
場 所:art space tetra(福岡市博多区)  
主 催:Asian Arts Air Fukuoka

## 「博多リバレイン灯明」

(「第23回博多灯明ウォッチング2017」同時開催)

10月21日(土)18:00~21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたクルパ・マーヒジャー(インド)が参加した。数千個の灯明をつかって、農村の暮らしを描くインドのフォークアート「ワルリー画」の図案を表現した。



# 教育普及事業

## 1 体験学習、博物館実習等

### ◎団体見学

福岡雙葉小学校付属幼稚園			
年中児	62人	5月18日	
九州産業大学付属九州高等学校			
1年生	69人	5月18日	
北九州市立中央中学校	2年生	34人	5月25日
福岡県立玄海高等学校	2年生	38人	5月30日
北九州市立穴生中学校	2年生	67人	6月2日
北九州市立東谷中学校	2年生	15人	6月6日
福岡市立立石峯中学校	2年生	6人	6月9日
北九州市立洞北中学校	2年生	30人	6月9日
北九州市立大学建築デザイン学科	15人	6月10日	
北九州市立浅川中学校	2年生	153人	6月30日
中村学園大学教育学部児童幼児教育学科			
	258人	7月1日	
西南学院大学博物館教育論専攻	9人	7月2日	
九州大学博物館教育論専攻	44人	7月16日	
西南学院小学校	5年生	73人	7月18日
福岡教育大学教育学部	16人	7月22日	
福岡市中学校合同ワークショップ	78人	7月23日	
中村学園大学	112人	7月25日	
福岡市中学校合同ワークショップ	51人	7月29日	
しおばる保育園	年長児	26人	8月3日
飯塚市立庄内中学校	美術部	22人	8月22日
福岡市立香椎第一中学校	1年生	37人	8月31日
開智日本橋学園中学校	3年生	32人	9月11日
開智日本橋学園中学校	3年生	7人	9月12日
梅光学院大学博物館学課程	13人	9月21日	
宮若市立宮若西中学校	1年生	8人	9月21日
福岡市立金武小学校	4年生	135人	9月28日
福岡市立原北中学校	1年生	237人	10月3日
福岡市立高取小学校	6年生	194人	10月5日
福岡市立小笹小学校	1年生	133人	10月17日
福岡市立屋形原特別支援学校			
中学部	5人	10月17日	
川棚町立立川棚小学校	6年生	12人	10月26日
福岡市立有田小学校	3年生	101人	10月27日
福岡市立次郎丸中学校ブロック			
特別支援学級交流会(有田小、賀茂小、次郎丸中)			
	39人	10月30日	
諫早市立諫早小学校	6年生	14人	11月2日
中村学園大学	53人	11月11日	
西南学院大学	64人	11月11日	
九州大学芸術工学部	20人	11月16日	
博多青松高等学校	21人	11月11日	
福岡市立南当仁小学校	4年生	97人	11月21日
福岡ベルエポック美容専門学校	35人	11月28日	
北九州市立横代中学校	13人	11月30日	
北九州市立本城中学校	15人	12月1日	
九州大学芸術工学部 芸術文化論演習			
	32人	12月3日	
福岡市立弥永西小学校	6年生	69人	12月11日
福岡市立八田小学校	6年生	90人	12月11日
福岡市立西長住小学校	6年生	42人	12月12日
福岡市立曲淵小学校	6年生	12人	12月12日
福岡市立愛宕小学校	6年生	113人	12月14日
福岡市立南当仁小学校	6年生	99人	12月14日
福岡市立鳥飼小学校	6年生	124人	12月14日
中村学園大学児童幼児教育学科	56人	12月16日	

北九州市立沼中学校	1年生	61人	2月1日
リンデンホールスクール小学部			
	1年生	37人	2月2日
福岡市立博多高等学園		49人	2月9日
福岡市立多々良中央中学校特別支援学級			
		13人	2月19日
福岡市立弥永西小学校特別支援学級15人			2月20日

### ◎職場体験学習

東福岡自彊館中学校	2人	5月23日～25日
福岡雙葉中学校	5人	8月22日、23日
福岡市博多中学校	5人	8月24日、25日
福岡市警固中学校	4人	8月30日、31日
福岡市城西中学校	5人	9月5日、6日
福岡市宮竹中学校	5人	9月5日、6日
福岡市東住吉中学校	5人	9月5日、6日
福岡市那珂中学校	4人	9月6日、7日
福岡市梅林中学校	6人	9月7日、8日
福岡市当仁中学校	5人	9月12日、13日
福岡市平尾中学校	5人	9月13日、14日
福岡市高宮中学校	5人	9月13日、14日
福岡教育大学附属福岡中学校	5人	11月29日
福岡教育大学附属福岡中学校	2人	2月27日

### ◎博物館実習

(5月から10月までの中で10日間程度)	
西南学院大学	2人
福岡大学	1人
九州産業大学	1人
筑紫女学園大学	1人
福岡教育大学	1人

### ◎夏期インターンシップ

福岡常葉高等学校	3名	7月31日～8月4日
福岡海星女子学院高等学校	2名	7月31日～8月4日

## ミュージアム施策事業

### 1 福岡ミュージアムウィーク

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の17施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、ハクハク、味楽窯美術館)が連携し、5月13日から21日まで様々な催しを開催した。

#### 福岡アジア美術館の催し

##### 東山彰良トークショー

5月13日(土)14:00~16:00

参加者:一般100人

場 所:あじびホール

##### ギャラリーツアー

5月15日(月)、16日(火)、18日(木)、19日(金)14:00~14:40

参加者:一般27人

場 所:アジアギャラリー

##### バックヤードツアー

5月14日(日)、21日(日)13:00~14:00

参加者:一般40人

場 所:バックヤード

##### アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)

①11:30~12:00 ②13:00~13:30

参加者:未就学児と保護者50人

##### 滞在者によるトーク

5月20日(土)

参加者:一般46人

##### その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 参加館を巡るスタンプラリー
- チャレンジ☆鑑賞ミニ感想文!



東山彰良トークショー



ギャラリーツアー

## 2 福岡城まるごとミュージアム

会期：2018年3月30日(金)～4月8日(日)

会場：福岡城跡[舞鶴公園]

主催：まるごとミュージアム実行委員会

開催日数：10日間

観覧者数：53,831人

参加作家：6組

(草間彌生、藤浩志、岡本光博、スーザン・ヴィクター、クルパ・マーヒジャー、ヤルー)

文化芸術で福岡を盛り上げる「福岡市文化プログラム」の第1弾。「さくらまつり」でにぎわう黒田官兵衛ゆかりの名城として知られる福岡城を、国内外で活躍する6作家によって、広大なアートスポットへと変化させた展覧会。いにしえの人々の記憶が息づく福岡城と、今をときめく現代作家による作品との新たな出会いを創出した。

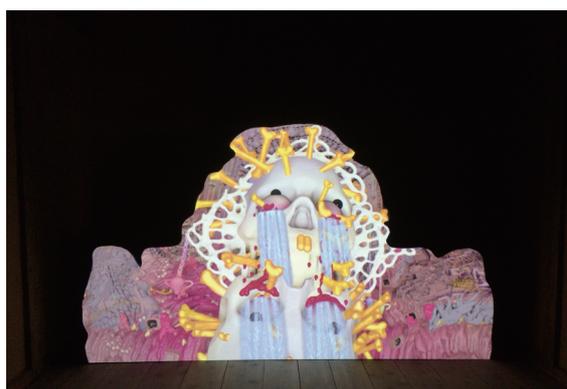
ポスター／B2 村上英峻／株式会社四ヶ所(印刷)  
チラシ／A4 村上英峻／株式会社四ヶ所(印刷)



スーザン・ヴィクター《日の出》2018年



クルパ・マーヒジャー《再訪、歴史とアイデンティティ》2017年



ヤルー《ヤルー城》2018年

## ボランティア事業

8つのグループに分かれて活動を行った。11月には、九州国立博物館ボランティアが当館ボランティアとの交流のために来館し、交流会を実施した。年度末には、隔年で実施しているボランティア登録更新手続きを行った。

### 活動内容およびグループ別のべ人数（ひとりが複数のグループで活動可）

平成29年4月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	83
図書資料	図書資料の整理・修理、配架、蔵書確認	65
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助	55
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	24
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	30
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	38
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	17
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	266
	延べ人数	578
	ボランティア登録者数	266

## 活動

### 【案内・解説】

4月1日より活動開始。「アジ美の魅力を伝えよう！」を年度目標に、活動を行った。開館日に毎日施設案内やアジアギャラリーの作品解説を行い(13:00～16:00)、学校を始めとする団体や個人の見学希望者に随時案内を行った。5月13日～21日の「福岡ミュージアムウィーク」では「ボランティアによるギャラリーツアー」を4回実施し、11月3日～12月25日開催の「サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで(以下、サンシャワー展)」では有志によるギャラリー解説を行った。月例ミーティング後には、スキルアップ研修も行った。

### 【図書資料】

4月7日より活動開始。「活動にみんなで参加できるように。閲覧室をもっと魅力的にそして、もっと多くの人にきてもらうように！」を目標に活動を行った。今年度から活動の形態を変更し、偶数日に限定して蔵書確認や書架整理、装備などの活動を行った。4月23日～5月12日のこどもの読書週間に合わせて図書閲覧室に絵本を展示し「ようこそ、ミャンマー美術へ！」展、サンシャワー展にあわせて選書した本に紹介コメントをつけるなどの活動を行った。

### 【学芸資料】

4月4日より活動開始。「月2回の活動をしよう」を年度目標に、アジ美関連記事の新聞スクラップやアーティストの資料ファイル製作などの活動を行った。

### 【展覧会情報】

4月6日より活動開始。「デジタル化作業の普及とスキルアップ」を年度目標に、毎月第1・3木曜および第2・4土曜を中心に展覧会のチラシやハガキの受入れとファイリング、館内掲示などを行うとともに、雑誌の電子スクラップ作業などを行った。

### 【広報】

4月11日から活動開始し、「アジ美のよさを体感し、広報活動にいかそう。交流で仲間をつくり、ボランティアを愉しもう」を年度目標に活動を行った。季刊広報誌「あじびニュース」および特別企画展のポスター、チラシを発送したほか、美術館近隣のホテルに館のリーフレットやポスター、チラシ等を随時設置依頼した。

### 【読み聞かせ】

4月19日より活動開始し、毎月第2・第4火・日曜日に活動をおこなった(各日2回開催)。「アジ美らしい読み聞かせをする」を目標に、絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。各月で紙芝居の自主勉強会を開催し、絵本のスキルアップ研修も随時実施したほか、外部の読み聞かせの講座にも有志で参加した。



連絡当番ミーティング



交流ボランティアによる滞在制作サポート



学芸資料ボランティア

## 【交流】

第1期レジデンスプログラムの滞在アーティスト、ヤルーのワークショップの準備、7月28日～31日開催の成果展準備および開催中の会場見守りなどを行った。7月20日～8月20日に開催した「おいでよ！絵本ミュージアム2017」の会場見守りや誘導などを行った。10月21日開催の「博多リバレイン灯明」の設置、撤収作業を行った。第2期レジデンスプログラムの滞在アーティスト、クルバ・マーキジャーの作品制作の材料提供や制作サポート、3月30日から開催した「福岡城まるごとミュージアム」のヤルーの展示見守りなどを行った。

## 【活動支援】

4月15日より活動開始。「自分たちが楽しめる活動を！」を目標に活動を行った。研修バスツアーや滞在アーティストの歓迎会、各グループの連絡当番が参加する全体ミーティングの開催のほか、ボランティア研修会の実施および他館ボランティアとの交流会の実施、総会のサポート、館長インタビュー等を行った。

### 《活動支援ボランティア主催のボランティア催事》

#### ◇連絡当番ミーティング

5月27日、8月19日、11月26日

#### ◇研修旅行(鹿児島)

11月18、19日 霧島アートの森「ナム・ジュン・バイク展」、  
工房しょうぶ、鹿児島市立美術館訪問

#### ◇研修会

9月2日 「VTS (ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー)方式による対話型作品鑑賞体験」  
講師：蒲池昌江(交流係)

#### ◇歓迎会

5月20日 第I期レジデンス・プログラム  
9月23日 第II期レジデンス・プログラム

#### ◇交流会

12月17日 第1部 山木裕子学芸員によるミニトーク  
第2部 親睦会

## □その他

#### ◇平成29年度ボランティア総会

2018年3月17日 於：あじびホール

#### ◇担当学芸員によるボランティア向けギャラリートーク

アジアギャラリー展示替え毎に各2回実施



研修旅行(霧島アートの森「ナム・ジュン・バイク」展)



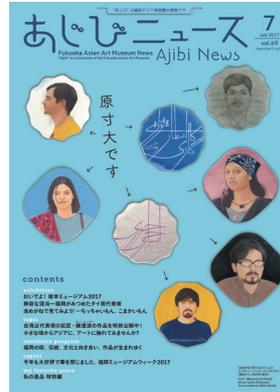
九州国立博物館ボランティアとの交流会

あじびニュース



Vol.68 2017.4.1発行

- 2017年度展覧会スケジュール
- 光をつかまえて
- 2017年度レジデンス・プログラム
- アート横断Ⅴ 創造のエコロジー
- 新ミュージアム・カフェの魅力をご紹介します
- 新年度スタート！春のオススメグッズ
- 私の逸品—中川たくまさん
- 研究者のテッサさん、充実のレジデンス！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2017年4月—6月



Vol.69 2017.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2017
- 静寂な混沌—福岡がみつめたタイ現代美術
- 虫めがねで見てみよう！—ちっちゃいもん、こまかいもん
- 台湾近代美術の巨匠・陳澄波の作品を特別公開中！
- 小さな頃からアジアに、アートに触れてみませんか？
- 福岡の街、伝統、文化と向き合い、作品が生まれゆく
- 今年も大好評で幕を閉じました。福岡ミュージアムウィーク2017
- 私の逸品 特別編
- 福岡アジア美術館インフォメーション2017年7月—9月



Vol.70 2017.10.1発行

- サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで
- 博多でつなぐ東南アジア
- ようこそ、ミャンマー美術へ！
- この秋、あじびに滞在するアーティスト&研究者
- 私の逸品—齋藤一樹さん
- ご存知ですか？ふくおか応援寄付
- 福岡アジア美術館インフォメーション2017年10月—12月



Vol.71 2018.1.1発行

- 冬のおとなミュージアム「異境にて—日本作家の見たアジア」
- サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで
- 博多でつなぐ東南アジア
- この秋、滞在した2人が福岡で作ったもの、感じたこと
- 私の逸品—山内光枝さん
- ただいま改修中！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2018年1月—3月

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)  
 デザイン 大村政之(クルール)  
 和文英訳 ステファニー・オリ

## リーフレット

平成30年度展覧会リーフレット

2018.3.31発行

- 展覧会のご案内2018年4月—2019年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

企画

幅594×縦210mm(両面カラー・3つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

デザイン 村上英峻

## ホームページ

<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

## コンテンツ

美術館について／美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、ミュージアムカフェ、団体観覧

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、スケジュール

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

## Facebook

<https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/>

## ブログ

<http://faamajibi.blogspot.com/>



所蔵作品

新所蔵作品数 H29年度

	購入	寄贈	合計
絵画	0	2	2
版画	15	0	15
写真	0	0	0
映像	0	0	0
立体	0	2	2
合計	15	4	19

※作品データは、以下の順で記載  
 作家名(拠点)  
 タイトル  
 制作年  
 ジャンル 素材  
 サイズ(cm)

新所蔵作品一覧

- |   |   |    |   |    |   |
|---|---|----|---|----|---|
| 1 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>生産の力 #1<br>1995<br>版画 リノカット、アクリル・紙<br>61.5×61.5           | 9  | チッタプロサド(インド)<br>飢餓<br>1952<br>版画 リノカット・紙<br>22.5×23.0                           | 18 | シア・アイホア(夏愛華)(台湾)<br>陽が落ちた後・月が昇る前—妖精<br>の道<br>2017<br>絵画 天然漆、岩絵具、麻・木板<br>30×30×3.5(寄贈) |
| 2 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>フィリピン人家政婦<br>2013<br>版画 木版・紙<br>91.5×39.6                 | 10 | ラムキンカール・バイジ(インド)<br>行動せよ、さもなくば死を、1942<br>年<br>1942年頃<br>版画 リノカット・紙<br>22.5×15.3 | 19 | アウンミン(ミャンマー)<br>王と王女<br>1997<br>絵画 アクリル・画布<br>85.5×86.0(寄贈)                           |
| 3 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>戦争指導者一隊が民衆のブタ野<br>郎を生む<br>2013<br>版画 リノカット・紙<br>91.5×45.6 | 11 | ソムナット・ホール(インド)<br>不詳(夜の集会)<br>1947年頃<br>版画 木版・紙<br>13.3×18.0                    |    |   |
| 4 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>生産の力 #2<br>2014<br>版画 木版、アクリル・紙<br>39.6×91.7              | 12 | ソムナット・ホール(インド)<br>不詳(村芝居)<br>1973<br>版画 木版・紙<br>17.3×20.5                       |    |   |
| 5 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>農園のなかで<br>2014<br>版画 リノカット・紙<br>45.7×45.7                 | 13 | オ・ユン(韓国)<br>大地-5<br>1983/1997<br>版画 木版・紙<br>41.3×35.3                           |    |   |
| 6 | レオニーリョ・オルテガ・ドロリ<br>コン(フィリピン)<br>民衆の殉教者<br>2014<br>版画 リノカット・紙<br>44.5×44.8                 | 14 | オ・ユン(韓国)<br>父<br>1983/1997<br>版画 木版・紙<br>36×34                                  |    |   |
| 7 | チッタプロサド(インド)<br>教室<br>不詳<br>版画 リノカット・紙<br>25.8×36.2                                       | 15 | オ・ユン(韓国)<br>剣歌<br>1985/1997<br>版画 木版・紙<br>32.3×25.5                             |    |   |
| 8 | チッタプロサド(インド)<br>子どもの要求<br>1952<br>版画 リノカット・紙<br>22.3×30.4                                 | 16 | シア・アイホア(夏愛華)(台湾)<br>包まれた家—鍛冶屋<br>2014<br>立体 脱乾漆(天然漆、色漆、金箔、麻)<br>20×10×10(寄贈)    |    |   |
|   |   | 17 | シア・アイホア(夏愛華)(台湾)<br>静かな心<br>2016<br>立体 脱乾漆(天然漆、色漆、麻)<br>7×9×16.5(寄贈)            |    |   |

5



14



8



16



10



19



11



## 所蔵作品 2 貸出一覧

※平成29年(2017)年4月以降

貸出先: 国立新美術館、森美術館

展覧会: サンシャワー: 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで

会期: 2017年7月5日(水)～10月23日(月)

貸出: 25点

入場者数: 354,245人 ※2館合わせて

作者	作品名
1 ウォン・ホイチョン	移民の皮膚
2 ウォン・ホイチョン	先住民の皮膚
3 マニユエル・オカンポ	すべてのものに開かれた天国
4 アグス・スワゲ	サイチョウと宣教師
5 FX ハルソノ	声なき声
6 リー・ダラプー	メッセンジャー
7 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.2
8 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.3
9 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.6
10 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.7
11 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.10
12 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.11
13 アマンダ・ヘン	もうひとりの女 No.14
14 スヴァーイ・ケーン	弦のギターに合わせて歌う教育
15 スヴァーイ・ケーン	久しぶりに再会してとてもうれしい
16 スヴァーイ・ケーン	まず一家の長を敬いなさい
17 スヴァーイ・ケーン	新婚夫婦に花をさすける僧
18 スヴァーイ・ケーン	椰子ジュースの収穫からの帰り道
19 スヴァーイ・ケーン	お菓子を食べながら籠を編む祖父
20 スヴァーイ・ケーン	お坊さんと一緒に勉強
21 スヴァーイ・ケーン	ココナッツの壺で洗う
22 スヴァーイ・ケーン	もみをふるう少女
23 スヴァーイ・ケーン	もみを蒔く少女
24 モンティエン・ブンマー	やわらかな虚空(仏頭)
25 モンティエン・ブンマー	やわらかな虚空(座像)

貸出先:東京オペラシティ アートギャラリー  
 展覧会:単色のリズム 韓国の抽象  
 会期:2017年10月14日(土)~12月24日(日)  
 貸出:9点  
 入場者数:非公表

	作者	作品名
1	イ・ジョンジ(李正枝)	O-88
2	イ・ジョンジ(李正枝)	O-89
3	イ・ジョンジ(李正枝)	O-89
4	キム・ファンギ(金煥基)	作品 20-V-74
5	ソ・セオク(徐世鈺)	群舞
6	チョン・サンファ(鄭相和)	無題
7	ハ・チョンヒョン(河鍾賢)	接合85-82
8	パク・ソボ(朴栖甫)	描法 No.27-77
9	ユン・ヒョングン(尹亨根)	Umber-Blue 337-75 #203

貸出先:ナショナル・ギャラリー・シンガポール  
 展覧会:宣言と夢の間:19世紀以降の東南アジア美術  
 会期:2015年11月24日(火)~(開催中)  
 ※貸出作品の展示は、2017年11月20日(月)~2019年4月8日(月)  
 貸出:1点(他4点は2015年より継続貸出中)  
 入場者数:130,400人(2017年11月20日(月)~2018年3月31日(土))

	作者	作品名
1	グエン・カン	ホーおじさん、村へ行く

貸出先:ファン・アッペ美術館(オランダ、アイントホーフェン)  
 展覧会:ラシード・アライーン回顧展  
 会期:2017年12月2日(土)~2018年3月25日(日)  
 貸出:1点  
 入場者数:36,872人

	作者	作品名
1	ラシード・アライーン	ソネ・キ・チリヤ

貸出先:千葉市美術館  
 展覧会:小沢剛 不完全-パラレルな美術史  
 会期:2018年1月6日(土)~2月25日(日)  
 貸出:1点  
 入場者数:7,049人

	作者	作品名
1	小沢剛	醤油画資料館

	作者	作品名
1	ツァイ・グォチャン	天地悠々のための下絵
2	ジャン・ジャンホエ	光と線
3	A.H.マハヴェルほか	パキスタンの映画ポスター(ロリウッド・ポスター)41点

# 入館者数

## 年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
28年度	311	65,061	49,082	137,182	251,325	808
29年度	313	66,383	62,999	183,358	312,740	999
累計	5,756	949,822	1,621,576	2,200,788	4,772,186	

## 月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	15,848	23,816	16,465	24,165	59,751	48,985	13,946	9,195	9,374	39,855	39,576	11,764	312,740

## あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	10	4	19	14	7	25	16	9	12	15	14	8	153
人数	878	238	1,248	1,030	254	3,987	1,664	580	1,146	1,286	1,059	465	13,835

## あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
28年度	135	12,874
29年度	153	13,835
累計	2,116	200,596

## あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	9	546
セミナー	19	1,146
アーティストトーク	7	598
ワークショップ	3	120
映画	34	4,609
演劇	9	831
音楽	5	377
落語	6	720
漫才	3	213
展示	26	2,384
その他	32	2,291
合計	153	13,835

## 常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数
					一般	高・大	小・中	計	
常設展		313	66,383	212	12,325	2,247	0	14,572	51,811
特別企画展 おいでよ！絵本ミュージアム2017	7月20日～8月20日	32	55,608	1,738	17,783	456	4,560	22,799	32,809
サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで	11月3日～12月25日	46	7,391	161	3,358	1,003	0	4,361	3,030
合計		78	62,999		21,141	1,459	4,560	27,160	35,839

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第21回 福岡市美術連盟展	4月 1日～ 4月 4日	4	1,062	福岡市美術連盟会員による作品展示。福岡の美術界で活動する会員200名が、日本画・絵画・彫刻・工芸・写真・グラフィックの6部門に力作を出品。
第25回アジア美術家連盟日本委員会展	4月 6日～ 4月11日	6	1,262	洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、メディアアートの作品展示。
ルーブル美術館特別展「ルーブルNo.9～漫画、9番目の芸術～」	4月15日～ 5月28日	39	21,194	世界最高峰の美術の殿堂「ルーヴル美術館」をテーマに、「漫画」で自由に表現する「ルーヴル美術館BD プロジェクト」の全容を約300点の原画や資料、特別映像で紹介。日本からは荒木飛呂彦、谷口ジロー、松本大洋、五十嵐大介、坂本真一、寺田克也、ヤマザキマリが参加し、日仏総勢16人の漫画家たちが独特な世界観で描き出す16通りのルーヴル美術館。
第76回 創元展 福岡巡回展	6月 1日～ 6月 6日	6	3,260	第76回創元展(新国立美術館)にて4月5日～4月17日に開催展示された作品の中から、全国選抜巡回作品71点と地元福岡支部員・佐賀支部員の作品79点の油彩・水彩・版画、合計150点を展示。
滝口 文吾作品展<生命体シリーズ>	6月 8日～ 6月13日	6	910	花をモチーフにした油彩200号を中心に25点程を展示。
花と光のフェスティバル「押花で描く雅の世界」 「ガラスアート、レカンフラワー、アートプリント」作品展	6月 8日～ 6月13日	6	1,928	自然の草花を押し花にした額絵約100点、スタンドガラスの雰囲気か手軽に楽しめるガラスアート約30点、自然の草花を立体的に乾燥させたレカンフラワー約20点、衣類やバッグ、アクセサリーなどにアイロンでデコレーションしたアートプリント約20点。その他、切り絵の世界を表現したシルエットアートやタイルクラフトなど合計約240点を展示。
第30回 蘭亭書道展	6月15日～ 6月20日	6	2,711	中国の書家・王羲元の名作「蘭亭序」の三二四字を使った語句や春の風雅を基調とした漢字・かな・篆刻・調和体で、漢詩、語句、短歌、俳句を色紙や短冊に表現する書道展。
イメージラボ写真教室作品展	6月22日～ 6月27日	6	1,260	開講18年目を迎えるイメージラボ写真教室。年に一度、全員での作品展を開催。200点近い作品と写真集、立体作品等を展示。
第45回 日本の書展 九州展	6月29日～ 7月 4日	6	1,738	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂で紹介。日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠15人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など456点の作品を展示。
メモリーパッチワークスクール作品展	7月 6日～ 7月11日	6	1,053	ベッドカバーサイズの作品からタペストリーまで、メモリーパッチワークスクールとNHK文化センターの生徒の作品約40点を展示。
日中八城八人書画篆刻展	7月 6日～ 7月11日	6	296	中国と日本の8都市で活躍する書画作家8名の作品展。名古屋は書道家の李銀山、福岡は画家の姚明など。書画家作品60点、書道、水墨画、篆刻作品を展示。
マーベル展	8月26日～10月 1日	32	47,360	「MARVEL」レーベルから生み出されたキャラクターや作品を、日本初公開となる貴重な資料、衣装、小道具などで紹介。
hakata8museum 展	10月 5日～10月10日	6	1,532	博多の町を歴史を表現するコンセプトチャル・アート展。
梅緑・彩墨 中国当代著名画家 張 建新画展	10月12日～10月17日	6	940	日中国交正常化45周年を記念し、中国当代の著名画家で、特に「梅花」や「山水画」を得意としている張建新氏の作品展示と、中国新鋭画家で、女性特有の色彩に対する鋭敏さを特長とする張梅氏の作品を展示。
加藤 笑平展	10月12日～10月17日	6	528	絵画ドローイング、パフォーマンス、インスタレーション、アートスペース運営と様々な形で「日常」と「非日常」の境界線をテーマに、あやふやでアンビバレントな展開をしてきた加藤笑平の新旧作品のミクスチャーと友人作家とのミクスチャー個展。
福岡市障がい児・者美術展	10月19日～10月24日	6	1,149	「えがく」「もじ」「あそぶ」の3部門より530の作品を展示。
西元祐貴 龍のキセキ	1月 6日～ 2月11日	33	44,253	新進気鋭の墨絵アーティスト西元祐貴・初の全国巡回展「西元祐貴 龍のキセキ」福岡展。今までに描かれた作品と個展の為に書き下ろされた新作、約30mを超える大型作品を含む約100点の作品で構成。
ファインアート展	2月15日～ 2月20日	6	1,309	福岡市内の中学校特別支援学級に在籍する生徒たちの作品を展示。日頃の学習の成果を発表するもので、絵画、手芸、陶芸、書、木工などで構成。
アジアデジタルアート大賞展	2月22日～ 2月27日	6	991	九州大学と福岡県・福岡市などが中心となって主催するメディアアートコンペティション「2017アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA」。受賞作品を展示や上映、さまざまなプログラムを通じて紹介。
福岡市書道協会展	3月 1日～ 3月 6日	6	942	福岡市書道協会々員217名(福岡県展、福岡市展の入選者で福岡市在住者)による漢字、かな、調和体など、形式にこだわらない自由で楽しい書道展。
くまのバディントン展	3月10日(～4月15日)	32	5,916	児童小説「バディントン」シリーズの原作者、マイケル・ボンド氏(1926～2017)の生前のインタビュー映像や、児童書の挿絵で知られるベギー・フォートナムや絵本作家らの原画、世界中で出版された書籍など、多彩な展示でバディントンの世界を紹介。
合 計		236	141,594	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
馮 峰 水墨版画芸術展	4月 1日～ 4月 4日	4	258	馮峰の水墨版画作品、約30点展示。
ネパール災害復旧支援絵画展とパネル展	4月 6日～ 4月11日	6	1,319	20年間にわたって取り組んできた児童教育支援活動の経緯をパネルとDVDで紹介。福岡ニルマルボカリ学校卒業生の日本留学を支援するための「絵画三人展」を開催。
鴻巣 書作展	4月13日～ 4月18日	6	884	書作品(漢字・かな・金石文)120点を展示。
素花ボジャギ展 第3回	4月20日～ 4月25日	6	1,121	韓国のボジャギの会との共同開催。韓国からも多くの出展を展示。
アートスタジオアライブ鉛筆画教室作品展	4月27日～ 5月 2日	6	993	鉛筆画教室の生徒約100人の鉛筆のみで描かれた作品を一同に展示。
松田 芙末子アート表装「遊心会」作品展	5月 4日～ 5月 9日	6	577	松田芙末子アート表装教室福岡県内会員合同の作品展。
九州古田会アート展	5月11日～ 5月16日	6	717	日本大学芸術学部・日本大学校友会による親睦会で、プロから趣味の世界の人まで、様々な気持ちをぶつけ合う作品展。九州を中心に大阪・神奈川・埼玉・鳥取の校友から写真・絵画・書・陶芸・デザインなど、約150点の作品を展示。
塑以・土の光をもって	5月18日～ 5月23日	6	526	ドイツのマルガレーテンヘーエ工房(Keramische Werkstatt Margaretenhohe)で研鑽を積んだ女性陶芸家キム・キョニアの待望の日本初個展。
花で祝う	5月25日～ 5月30日	6	913	家具、生活雑貨、漆器、さまざまな素材にアクリル絵具を使い、色とりどりの花を描いた約300点の作品を展示。
第13回NHK福岡文化センター平川幸児写真教室写真展「DIARY」	6月 1日～ 6月 6日	6	566	第13回NHK福岡文化センター平川幸児写真教室の作品展。
形象展	6月 8日～ 6月13日	6	501	心で感じたことを、絵と対話しながら自由に描いた作品を展示。
第12回ぶらり筆ペンの会作品展	6月15日～ 6月20日	6	1,003	河原に生えている筆で作った筆ペンを使って、スケッチや絵画の制作をしているグループの作品展。
パッチワーク作品展 ANNEと仲間達	6月22日～ 6月27日	6	850	ベッドカバーサイズの大きな作品から小さな作品まで、普段の生活に使えるような作品を展示。
第45回 日本の書展九州展	6月29日～ 7月 4日	6	932	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂で紹介。
児童絵画展	7月 6日～ 7月11日	6	846	福岡地区小学校2年生を対象に、「わたしと先生」というテーマで絵画を募集。応募作品を審査し、約200点の優秀作品を展示。
阿部直昭絵画教室 彩友会展	7月13日～ 7月18日	5	512	阿部直昭絵画教室で絵を描いている4才から86才まで約100名による油絵、裸婦、デッサン、クロッキー画、幼児画など約150点を展示。
2017福岡韓国美術展	7月20日～ 7月25日	6	408	韓国美術の洋画、東洋画、工芸品、写真、デザインなど多様な作品に出会える展示。
ヤルーパーク	7月28日～ 7月31日	6	685	福岡アジア美術館に5月より滞在していたヤルーさんが、福岡で制作した、プロジェクト・マッピングを使った映像インスタレーション作品「ヤルーパーク」を公開。
蔚山大学校デザイン学部視覚デザイン学科卒業作品海外展示	8月 3日～ 8月 8日	6	294	韓国・蔚山広域市にある「蔚山(ウルサン)大学校」で視覚デザインを専攻する4年生が開催する卒業作品展。
木村 鉄郎展	8月10日～ 8月15日	6	638	「光の誘惑」をテーマとした展覧会。
第45回福岡教育大学書道科福岡県人書作展	8月17日～ 8月22日	6	430	福岡教育大学書道科 福岡県出身者15名による書作展。
2017ASIA FIBER ART EXHIBITION in FUKUOKA	8月24日～ 8月29日	6	478	「手仕事への回帰」をテーマに、日本、中国、韓国、マレーシア、インドネシア、5ヶ国の多彩なファイバーアート(繊維造形)作家が会し、染め織りはもとよりファッションに至るまで、空間表現やオブジェ、コラージュ等、様々な作品群で構成。
SCUBADIVING AIRPRESENTS 第2回美しき福岡の海中世界展	8月31日～ 9月 5日	6	2,305	過去、数千時間の潜水により撮影した福岡の水中写真の中から、地元の海が持つ海中の色彩と四季折々の生物達を水中写真と映像で紹介。
第16回 現美墨象展	9月14日～ 9月19日	6	625	40数年に亘り国際的に活動を続けている松田村伝を代表に、書の抽象作品である「墨象展」を展開。書の可能性を追い求める作品を展示。
第13回 はかた名匠展	9月21日～ 9月26日	6	2,246	14名の会員が手作りの技術、良さにこだわった伝統的な作品を展示。
日本の和キルト展 柴田輝子・斉藤八穂子二人展	9月28日～10月 3日	6	847	キルト作家二人が繰り広げる「日本の和キルト」の世界を紹介。
「石川 暢子の世界」展	10月 5日～10月10日	6	733	世界を旅した日本発のジュエリーを紹介。
第17回 grasp展	10月12日～10月17日	6	394	高い天井とガラス面を生かした展示。
Paradise Revisited - 軍艦島での子供時代に戻る旅	10月19日～10月24日	6	676	昨年ロンドンで大反響だった軍艦島の個展、「Paradise Revisited」を東京Bunkamuraに続いて国内公開。
第47回福岡市高齢者美術展	10月26日～10月31日	6	735	「洋画」「日本画」「書」「写真」「工芸」の5部門で、市内居住の60歳以上の方々に応募された作品を展示。
第4回 ステンドグラスアート・九州会作品展	11月 2日～11月 7日	6	753	九州各地・山口でプロとして活動している8名の作家の作品展。
第38回 中央区市民文化祭美術作品展	11月 9日～11月14日	6	892	絵画・写真・書・手工芸等、「一般の部」と「小・中学生の部」の2部門があり、大人から子供まで幅広い年齢の方々からの出品を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
行動美術 福岡展	11月16日～11月21日	7	614	東京・国立新美術館で行われた第71回行動展の作品の中で、福岡県内の会員・会友・一般出品者による作品展。
西日本写真協会 福岡支部「フォトニ水会」第21回作品展	11月23日～11月28日	5	457	風景、自然、お祭り、路上スナップ、動物など会員撮り下ろしの作品と「第73 回福岡県美術展」で入選した会員作品の40点で構成・展示。
第37回 南区美術展	11月30日～12月 5日	6	728	福岡市南区に在住、通勤、通学する16歳以上のお方および高校生から募集した作品(入選以上)と南区美術協会会員の作品を展示。
第33回城南南区市民アート展	12月 7日～12月12日	6	758	絵画・グラフィックデザイン・書・写真・工芸の5部門で構成され、城南区に居住もしくは通勤・通学する中学生以上の方の出品を展示。
第40回福岡市退職小学校長会作品展	12月14日～12月19日	6	614	退職後の生活を文化的に豊かなものにするため、一人一人が取り組まれた作品を展示。
第55回オール福岡大学写真展	12月21日～12月25日	5	311	福岡大学写真部の1年間の集大成となる展示会です。部員だけでなくOB・OG・部長先生・常任幹事会からも出展。
第23回福岡県幼児画展	1月 4日～ 1月 9日	6	2,570	幼児の絵画表現に対する興味・関心を高め、表現力を育てるとともに豊かな情操を養うことを目的として開催。福岡県内の幼稚園、保育園、保育所に在園する年少から年長児の応募作品5,422点から選出された入賞作品450点を展示。
九州産業大学芸術学部写真映像学科百瀬ゼミナール写真展	1月11日～ 1月16日	6	544	九州産業大学芸術学部写真映像学科、百瀬ゼミナール所属の学生・院生による写真展。
第47回世界児童画展・九州展	1月18日～ 1月23日	6	1,109	日本国内(48,055点)と海外42カ国の地域から応募された児童画合計95,147点の中から、入選以上の作品370点(福岡県259点、佐賀県75点、海外30点、他県特別賞6点)を展示。
福岡デザイン専門学校第20回卒業制作展+アジアデザイン交流展	1月25日～ 1月30日	6	670	福岡デザイン専門学校の第20回卒業制作展と提携校である台湾の国立彰化師範大学附属高級工業職業学校と華夏技術学院とのデザイン交流展。
平成29年度博多区文化・芸術展	2月 1日～ 2月 6日	6	610	福岡市博多区に在住、または通学・通勤している方、区内のサークルに所属し活動している方(いずれも中学生以下を除く)が応募した「絵画」「写真」「書」「グラフィックデザイン」の作品を展示。
kenDeWorks2017卒展近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科卒業設計・制作展	2月 8日～ 2月13日	6	767	近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科で建築およびデザインを学ぶ学生達の卒業設計・制作展。
第22回福岡市美術連盟展	2月15日～ 2月20日	6	2,492	福岡市美術連盟会員による作品展示。福岡の美術界で活動する会員約200名が、日本画・絵画・彫刻・工芸・写真・グラフィックの6部門に力作を出品。
九州産業大学芸術学部卒業制作展	2月22日～ 2月27日	6	709	九州産業大学芸術学部における学生生活の集大成として発表する卒業制作展。
九州産業大学芸術学部大学院芸術研究科修了制作展	3月 1日～ 3月 6日	6	328	九州産業大学 芸術研究科における学生生活の修了制作を発表する修了制作展。
ITOBA展Vol.1～繊維表現ことはじめ～	3月 8日～ 3月13日	6	706	福岡県各地で活躍する15名の作家が作品を展示。博多織、小倉織、手紡ぎ、手織り、ニット、藍染、型絵染、蠟染め(ろうぞめ)、手漉き和紙、絞り、テキスタイルアート、ファイバーアート等を展示。
山岳写真「九重礼讃」	3月15日～ 3月21日	7	1,244	優美で威厳に満ち、多くの登山客を魅了してきた九重の四季を18年かけて独自の感性で捉えた渾身の写真展。
明星和楽	3月23日～ 3月27日	5	542	芸術を身近に感じてもらうことに重きを置き、今日の芸術を見つめなおすような展示会を開催。
江海 龍展	3月29日(～4月3日)	6	334	昔から龍神と言われ、商売繁盛・家庭円満・健康・出世などの守り神とされる龍をテーマに、700年前の中国永楽宮の技術と水晶、金箔などの画材を用いた作品を展示。
合 計		308	41,764	

## 活動記録

### 2017年

- 5月 8日 受入支援作家イム・イエン・サム氏来館  
(6月15日まで)
- 5月12日 招聘作家ヤルー氏来館  
(8月9日まで)
- 5月13日 福岡ミュージアムウィーク開催  
(5月21日まで)
- 7月20日 おいでよ！絵本ミュージアム2017 開催  
(8月20日まで)
- 9月 7日 招聘作家クルバ・マーヒジャー氏来館  
(12月5日まで)
- 11月 1日 招聘研究者レオノール・ヴェイガ氏来館  
(11月30日まで)
- 11月1日 博多でつなぐ東南アジア開催  
(12月25日まで)
- 11月3日 サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代か  
ら現在まで 開催  
(12月25日まで)

### 2018年

- 2月13日 受入支援研究者レオナルド・バルトロメウス氏来館  
(3月31日まで)
- 3月30日 福岡城まるごとミュージアム開催  
(4月8日まで)

中尾智路

## 【展覧会企画】

2018. 1. 2- 12.25 コレクション展「アジアの美術—近代美術から現代美術へ」

## 【講演等】

2017. 5. 3 トーク、ジェームズ・ジャック個展「Transpacific Crossing」(3丁目ギャラリー、福岡)

2017. 7. 8 シンポジウム「現代美術は東南アジア地域をどのように表象してきたか」『サンシャワー: 東南アジアの現代美術 1980年代から現代まで』展(国立新美術館、東京)

2017.11.26 シンポジウム「アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート」『サンシャワー: 東南アジアの現代美術 1980年代から現代まで』展(福岡アジア美術館)

## 【その他】

2017. 8 佐賀大学大学院地域デザイン研究科 非常勤講師

2017.12 アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

## 【展覧会企画】

2017. 8.31-2018. 1. 9 コレクション展「福岡市・ヤンゴン市姉妹都市締結記念 ようこそ、ミャンマー美術へ！」

## 【執筆】

2017. 6 「写真家沖守弘の足跡」『月刊みんぱく』国立民族学博物館、2017年6月号、4-5頁。

2017.10 「女性の技術が支えるNGOアート——カンタとノクシ・カンタ」『バングラデシュを知るための66章』明石書店、93-98頁。

2018. 1 「アートとなったインド染織」『現代アート』「暮らしのなかのアート」『インド文化事典』丸善出版、336-337頁、594-595頁、601頁。

2018. 2 「特集:手芸考 「手芸」誕生—バングラデシュの刺繍布カンタから」『月刊みんぱく』国立民族学博物館、2018年2月号、18-19頁。

2018. 2 「サンミンの見果てぬ夢—ミャンマー現代美術調査記」『しるば』3号、アジア近代美術研究会会報、11-13頁。

## 【講演等】

2017. 4. 4 'History of 'Asian Art Show' and 'Fukuoka Asian Art Triennale'', "Territories Disrupted: Asian Art after 1989", organized by National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea &amp; TATE Research Center, Asia(MMCA, ソウル、韓国)

2017. 4.15 2017年度ビルマ研究会口頭発表「ミャンマー美術の変遷1950-1970—美術作家サンミンのライフヒストリーをとおして」(大東文化大学、東京)

2017.10. 1 「南アジアの現代美術作家と手工芸・手芸」『現代「手芸」文化に関する研究』(国立民族学博物館、大阪)

2017.11. 5 「『サンシャワー: 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで』と福岡のアートシーン」『福岡で聞く、アジアのアート最前線: トーク&amp;座談会』Asian Arts Air Fukuoka主催(CAP Studio(アート葉隠)、佐賀)

2017.11.17 "Panel: International Artist in Residence Program 2017 OPEN TO YOU 'Floating Commons' ". Organized by Openspace Bae. (Openspace Bae, 釜山、韓国)

2017.12. 8 「『サンシャワー: 東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで』と福岡×アジアのアートシーン」広島市立大学開講科目「美術史特講(現代)」(広島市立大学、広島)

2018. 2. 8 'From the Dawn of "the Asian Artists Exhibition" (1979) to "the 3rd Asian Art Show" (1989) at the Fukuoka Asian Art Museum', "Panel - Displays of Internationalism: Asia Interfacing with The World Through Exhibitions, 1947-1989", Dhaka Art Summit 2018. (Bangladesh Shilpakala Academy Auditorium, ダッカ、バングラデシュ)

趙純恵

【展覧会企画】

2017. 5.11-2017.12.25 コレクション展 日タイ修好130周年記念『静寂な混沌(カオス)―福岡がみつめたタイ現代美術』  
2018. 1.11-2018. 4.17 コレクション展 冬のおとなミュージアム『異境にて―日本作家の見たアジア』
- 【執筆】
2017. 6 山城知佳子写真展「存在の海」展評、『琉球新報』
- 【講演等】
2017. 6.19 コレクション展「光をつかまえて」についての講義(福岡女学院大学、福岡)  
2017. 8.10 “About the “Fukuoka Asian Art Museum and the “ZAINICHI artists”、[8.15特別展 世紀を越えて]主催(慶南道立美術館、韓国)  
2017.12.16 学芸員によるギャラリートーク「タイ、マレーシアの作品を中心に」、「サンシャワー:東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」展関連イベント(福岡アジア美術館)  
2017.12.16 Lounge 01「若手作家とアジアにおける活動の展望」Asian Arts Air Fukuoka主催(konya-gallery、福岡)

蒲池昌江

【その他】

2017. 5.~8. 福岡教育大学教育学部 非常勤講師  
2017. 9.~2018. 1 中村学園大学・中村学園大学短期大学部教育学部 非常勤講師

岩本史緒

【企画】

- 2017.11.17-18 周防大島×北九州 島ミュージカル・プロジェクト(ワークショップ及び公演)  
2017.11.26 踊って!!京町(北九州市小倉北区京町銀天街におけるコミュニティ・ダンス・プロジェクト)

【執筆】

2018. 1 「“不在”への眼差し―ジャカルタの国際展」、『美術手帖』第66巻第1010号、128頁、2018年

【その他】

2017. 4~8 北九州市立大学文学部 非常勤講師  
2017. 5.13 「森山安英(集団蜘蛛)展覧会」トーク・モデレーター(Gallery SOAP、北九州)  
2017. 6. 4 「Gallery SOAP 20周年」トーク・モデレーター(Gallery SOAP、北九州)

柏尾沙織

【展覧会企画】

- 2017.6.29-8.29 コレクション展 夏休み子ども企画「虫めがねで見てみよう！―ちっちゃいもん、こまかいもん」

【講演等】

- 2017.10.15 座談会「Who's making art? -アートは誰が作ってる?」、「THE CLOUDS」展関連イベント(art space tetra、福岡)  
2017.11.18 学芸員によるギャラリートーク「ベトナム、ラオスの作品を中心に」、「サンシャワー:東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで」展関連イベント(福岡アジア美術館)  
2017.12.23 事例報告「現代美術の展示と保存―福岡アジア美術館の取り組み」、「公開シンポジウム 美術館と現代美術 展示／保存」(主催:福岡市美術館、科学研究費(基盤研究費A)「現代美術の保存と修復」福岡アジア美術館)

## 名簿

### 福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
小 勝 禮 子	近現代美術史研究者・美術批評家

### 福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む。)

会 長	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	植 野 か お り	立花家史料館館長
委 員	的 場 典 子	松島小学校校長
//	田 畑 弘 行	北崎中学校校長
//	谷 本 昇	福翔高等学校校長
//	大 森 節 子	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
//	木 内 潤 子	福岡市社会教育委員
//	張 浩 子	福岡市PTA協議会副会長
//	李 善 姬	韓国語講師
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	宇 田 川 宣 人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
//	浦 上 雅 司	福岡大学人文学部教授
//	西 高 辻 信 宏	太宰府天満宮権宮司
//	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
//	藤 枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
//	松 尾 さ ち	社会福祉法人 JOY 明日への息吹 JOY倶楽部アトリエ ブラヴォ職業指導員
//	室 岡 祐 司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

### 福岡アジア美術館職員

館 長	森 英 之 (平成29年7月まで)
	轟 田 徹 (平成29年8月から)
運 営 部 長	黒 田 雷 児
運 営 課 長	西 島 雅 一
運 営 係 長	鍋 田 憲 孝
事 務 職 員	占 部 優 子
事 務 職 員	立 石 ア キ 子
事 務 職 員	大 庭 隼 人
嘱 託 員	友 納 恵 二
嘱 託 員	平 野 咲 季
嘱 託 員	藤 田 日 出 子
学 芸 課 長	ラワンチャイクン寿子
収 集 展 示 係 長	中 尾 智 路
学 芸 員	五 十 嵐 理 奈
学 芸 員	趙 純 恵
交 流 係 長	—
学 芸 員	金 子 裕 子 (山 木 裕 子)
嘱 託 員	荒 木 信 博
嘱 託 員	蒲 池 昌 江
嘱 託 員	岩 本 史 緒
嘱 託 員	久 保 沙 織 (柏 尾 沙 織)
嘱 託 員	松 浦 仁



発行 2019年3月  
福岡アジア美術館  
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階  
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>  
デザイン 城島印刷株式会社  
印刷 福岡アジア美術館  
著作権 2019年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、  
再生紙を使用しています。



